

環境情報

2018 No.848

6月11日号

発行：有限会社 環境情報

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-5
パインセントラルビル 3階
TEL：03-3538-4955
FAX：03-3538-4956

年間購読料 ◆ 16,560円 (消費税込)

本号の主なニュース

- 骨太の方針に汚水処理リノベーション盛り込む …… 1
- 環境省、汚水処理施設整備交付金の1次内示公表 …… 1
- JSCが運営委員会開き事業計画など審議 …… 2
- JARUS、30年度定時総会で田中理事長を再任 …… 4

URL：<http://www.kankyojoho.co.jp>

ホームページ用ユーザーID・パスワード

●ユーザーID(固定) kankyo

Pass: 12345678

骨太の方針に汚水処理リノベーション盛り込む

今後の浄化槽整備に追い風吹くか

政府は6月5日、「経済財政運営と改革の基本方針2018（骨太の方針）」の原案を公表した。経済成長の重点課題に「安全で安心な暮らしの実現」を位置づけ、生物多様性の保全、マイクロプラスチック等の海洋ごみ対策と合わせて「汚水処理リノベーション」「廃棄物処理・浄化槽の国際展開」に取り組む方針を示した。汚水処理リノベーションは自民党下水道・浄化槽対策特別委員会がまとめた提言に重なり、今回初めて「骨太の方針」に盛り込まれたことで、今後の浄化槽整備に追い風が吹く可能性がある。

自民党下水道・浄化槽対策特別委員会がまとめた「汚水処理リノベーション」は、処理場リノベーション、浄化槽リノベーション、ICTによる汚水処理産業の活性化・生産性向上の3項目で構成される。いずれも汚水処理施設の10年概成と、持続可能な事業運営の観点からまとめており、浄化槽リノベーションは「宅内配管等も含めて個人負担軽減を図り、単独処理浄化槽の転換を集中的に推進」「台帳システムの整備や運営管理を着実に実施」することが明記された。

単独処理浄化槽の合併転換は個人

負担の大きさがネックとされるも、「宅内配管は個人の設備」等の理由から、補助は既設単独槽の撤去費等のみにとどまっていた。もし補助対象が拡大されればこれまで遅々として進まなかった合併転換が加速する可能性がある。

一方、汚水処理リノベーションと同様に位置づけられた「浄化槽の国際展開」を巡っては、6月7日に環境省も経協インフラ戦略会議で決定された「インフラシステム輸出戦略（平成29年度改訂版）」に基づく海外展開戦略を策定。この中で水環境分野について「法制度の整備支援と併せて排水処理、浄化槽技術を展開する」方針を盛り込んだ。2014年以降、海外での浄

化槽設置基数は急速に伸びており、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）で「2030年までに未処理排水を半減させる」との目標が掲げられ、浄化槽マーケット獲得のチャンスが到来している。現状は地元のニーズを把握する海外企業との競合があるが、今後は集合処理と個別処理の長所を生かした汚水処理システムのパッケージ化、処理性能を公平に評価するための性能実証と性能評価制度の開発支援・整備を行うとする。

平成29年度浄化槽出荷基数は12万基割れ（浄化槽システム協会調べ）と近年の市場は落ち込む一方だが、転換点となりえる上向きの材料も見え始めている。